

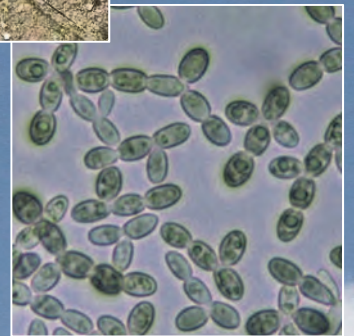
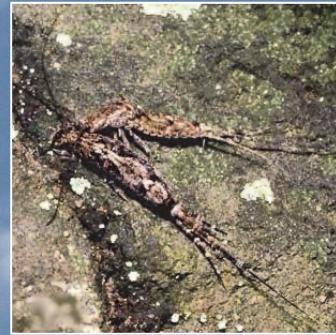


筑波大学 山岳科学センター
Mountain Science Center
University of Tsukuba

ご好評につき
今年も開催！

筑波大学公開講座 山岳科学センター菅平高原実験所

「まちなか自然講座 ～昆虫・植物・菌類～」



生物学の最前線の話が盛りだくさん！

大学の授業を体験してみませんか？

5月13日から毎週月曜日午後6時30分より、まちなかキャンパスうえだにて開催
(全6回)

詳細は裏面をご覧ください

筑波大学公開講座「まちなか自然講座～昆虫・植物・菌類～」

筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所の教員によるリレー講座。大学生向けに行なっているものと同レベルの講義を体験できます。自然や生物について知識を深めたい方におすすめです。

[講座内容] (日程については講師間で調整が行なわれる場合があります)

5月13日・20日「影の働きものキノコ・カビ・コウボ～菌類系統分類学～」

講師 ^{でがわ ようすけ} 出川 洋介 (筑波大学生命環境系 准教授)

酒、味噌、醤油など発酵食品を作ってくれているのは微生物のなかま、菌類です。しかし、「発酵」という現象は「腐敗」と本質的に変わりはなく、これらは人間にとって有益か有害かという点だけで区別されているに過ぎません。味方・敵としての面だけではなく、自然界における菌類の多様性やその役割を探ってみましょう。

5月27日・6月3日「草木たちの命のリレー～植物保全生態学～」

講師 ^{たなか けんた} 田中 健太 (筑波大学生命環境系 准教授)

様々な草木が、様々なやり方で、何十万年も前の氷河期から現在まで、命のリレーをしてきました。山火事や洪水などの自然撓乱が起きると、まず草原ができて森林に移り変わる「遷移」が起き、それが植物の多様性を生みます。しかし現在の日本は、草原と原生林という遷移の始点と終点がない、おかしな自然になっています。自然を守るにはどうすれば良いのか、植物の生存・繁殖戦略から探ります。

6月10日・6月17日「昆虫たちのサクセスストーリー～昆虫系統分類学～」

講師 ^{まちだ りゅういちろう} 町田 龍一郎 (筑波大学生命環境系 特命教授)

街中や田畑の周り、山の中まで様々な場所でみられる昆虫。現在、全動物種の75%をも占めるほどに大繁栄している昆虫類は、数億年をかけて現在の姿に進化してきました。身近な昆虫たちの、進化をひも解きます。

[日時] 5月13日～6月17日の毎週月曜日

午後6時30分～8時 (全6回)

[会場] まちなかキャンパスうえだ

(上田市中央2-5-10丸陽ビル1階。上田駅お城口から徒歩約10分。お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください)

[対象] 原則、毎回出席できる高校生以上の方

[定員] 先着20名 / [受講料] 2,500円 (資料代)

[お申し込み] 4月15日(月)～19日(金)に、住所、氏名、電話番号、メールアドレスまたはFAX番号、講座を知ったきっかけ、申込動機を明記の上、メールまたはFAXで下記へ。

[その他] 5回以上出席した方には修了証を差し上げます。

[お申し込み先・お問い合わせ] 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所

ikimono@sugadaira.tsukuba.ac.jp

FAX 0268-74-2016 / TEL 0268-74-2002 (平日9～17時、担当：山中)

